Keyword　版画芸術、印刷技術、リトグラフ、デジタルプリント

デジタルプリントが果たすべき、芸術表現の展開の可能性についての研究

芸術学部
ビジュアルデザイン学科
教授
西川 洋一郎

研究シーズの紹介

デジタル印刷とアナログ印刷技法（リトグラフ・シルクスクリーン）を用いたコンビネーションプリントの表現の多様性を主題として研究を継続している。従来はリトグラフとの組み合わせのみであったが、本学のシルクスクリーン工房を活用することで新しい版種を組み合わせることが可能となった。さまざまな素材にプリントが出来るシルクスクリーン印刷の特性を生かし、例えば透明なアクリル板にイメージの一部を刷り込み、多層的な表現を研究する。

Point　コンビネーションプリント

- 印刷技術を美術の表現様式に定着させることが可能です。

コンビネーションプリント　　印刷技術の進化と芸術表現
デジタルプリントの芸術的可能性

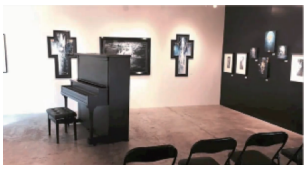
期待される活用シーン

- 美術館、自室などへの美術品の展示、所有

→ 芸術的な時間、空間、体験がもたらす、人としての豊かな生き方を実現する →

- ネットや出版など

→ 日常的な美術への接近による豊かな社会の構築 →



その他の研究テーマ